

日本CSR普及協会近畿支部 平成23年度第3回CSRセミナー

「企業不祥事における実務対応」のご報告

日時 平成24年2月29日(水) 午後3時～6時

場所 大阪弁護士会館2階ホール

テーマ 「企業不祥事における実務対応」

共催：近畿弁護士会連合会、後援：公益社団法人関西経済連合会

大王製紙株式会社やオリンパス株式会社等、企業不祥事が後を絶たない中、企業不祥事に対する社会の目は、ますます厳しいものとなっています。そこで、企業の社会的責任(CSR)の観点から、企業不祥事を生じさせない体制づくり、企業不祥事が生じた場合の実務対応、再発防止策等について、企業の立場から、又企業不祥事に様々な立場で関与する弁護士の立場から、それぞれ検討を行いました。

会場には、企業から140名、弁護士90名が参加され、大盛況でした。

- ・ 挨拶 山田庸男日本CSR普及協会近畿支部支部長
畑守人近畿弁護士会連合会理事長

- ・ 基調講演 木曾裕弁護士(第一東京弁護士会。日本CSR普及協会会員)



基調講演として、CSRとは何か、CSRを企業経営にどう生かすか、不祥事が生じたときの対応、そして企業不祥事対応において弁護士が果たすべき役割などについて講演がありました。

- ・ パネルディスカッション

パネリスト

上谷佳宏弁護士(兵庫県弁護士会。日本CSR普及協会会員)

米田秀実弁護士(大阪弁護士会。日本CSR普及協会会員)

木曾裕弁護士、宮地敏通氏(日本ハム株式会社執行役員)

コーディネーター 山口利昭弁護士(大阪弁護士会)

企業に不祥事が発生したときどう対応すべきか。過去の実例を交えながら、企業のとるべき



対応が議論されました。不祥事を隠蔽することは不可能、隠蔽しそれが後日暴露されたときは企業の存亡の危機となる。隠蔽ではなく、適切な開示こそ何よりも重要であるとの指摘が印象的でした。